

弥 監 発 第 1 4 号
平成 3 0 年 8 月 2 7 日

弥彦村長 小 林 豊 彦 様

弥彦村監査委員 小 田 茂 達
同 花 井 温 郎

平成 2 9 年度弥彦村水道事業会計・弥彦村下水道事業会計
決算審査意見書

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、標題の決算を審査したので、
その意見を別紙のとおり提出する。

平成29年度企業会計決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 平成29年度 弥彦村水道事業会計決算
- (2) 平成29年度 弥彦村下水道事業会計決算

2. 審査の期間

平成30年8月3日

3. 審査の場所

弥彦村役場 委員会室

4. 審査の方法

管理者から送付された弥彦村水道事業会計決算報告書・弥彦村下水道事業会計決算報告書、並びに貸借対照表、損益計算書及び剰余金計算書について、法令の規定に従って作成されているかどうかを確認し、これに記載された計数について、各種関係帳票類及び証書類と照合、あるいは内容の検討を行い、併せて担当課で作成された決算審査資料に基づき、関係職員の説明を聴取して、計数の正確性並びに予算の執行、管理の適正などについて慎重に審査を実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された決算諸表は、企業会計2事業とも財政状況並びに経営の内容は適正に表示されており、決算内容の計数正否、収支の合理性についても非違はなく、現金、預金残高も預入先金融機関の残高証明書の合計額と符号していることを確認し、適正なる決算であることを確認した。

第3. 審査の個別意見

各会計の審査概要と意見については、次のとおりである。

1. 平成29年度水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入2億1,562万7,011円、総費用は2億101万2,011円で、差引経常利益は、前年度より662万4,557円増の1,461万5,000円で、特別損失を精算しまして、1,416万7,480円の純利益となっている。全体の給水量は前年度比1.3%増加し、総収入は前年値を上回っているものの、消火栓設置による受託工事収益が減少し、総収入は2.2ポイントの減となっている。

今後とも安全な水の安定給水に心がけるとともに、人口減少による給水量の減少に伴う総収入の増加が見込めない状況であるが健全な企業運営に努められたい。

収益的収支

(単位：円)

区 分	平成29年度	平成28年度	比 較	
			増減額	増減率%
総 収 入	215,627,011	220,452,728	△ 4,825,717	△ 2.19
総 費 用	201,012,011	212,462,285	△ 11,450,274	△ 5.39
経 常 利 益	14,615,000	7,990,443	6,624,557	82.91
特 別 損 失	447,520	-	-	-
当 年 度 純 利 益	14,167,480	7,990,443	6,177,037	77.31

・業務の状況

給水人口は前年度に比べ66人減って、本年度は8,538人となった。また、有収水量は家庭用が減少したものの、営業用、工業用が増加しており、前年度より14,789m³多い114万8,987m³であった。

(単位：円)

区 分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
給水人口(人)	8,538	8,604	8,699	8,802	8,890
有収水量(m ³)	1,148,987	1,134,198	1,129,123	1,154,320	1,181,345
給 水 原 価	165円27銭	170円61銭	182円24銭	174円65銭	161円56銭
供 給 単 価	176円80銭	176円35銭	176円10銭	176円50銭	176円44銭

2. 平成29年度下水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入4億9,054万4,002円、総費用4億5,429万588円となり、差引経常利益は、前年度より109万8,381円減少し、3,625万3,414円で、特別損失を精算しまして、3,531万7,266円の純利益となっている。

今年度の水洗化率は、前年度より0.3ポイント増加し89.5%となっているが、引き続き未加入者への積極的な加入促進を進め、少しでも安定的な企業運営がなされるよう望むものである。

収益的収支 (単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
総 収 入	490,544,002	497,808,167	△ 7,264,165	△ 1.46
総 費 用	454,290,588	460,456,372	△ 6,165,784	△ 1.34
経 常 利 益	36,253,414	37,351,795	△ 1,098,381	△ 2.94
特 別 損 失	936,148	103,545	832,603	804.10
当 年 度 純 利 益	35,317,266	37,248,250	△ 1,930,984	△ 5.18

・業務の状況

下水道施設は、住宅などから排出される洗濯水や台所用水などの生活排水が水路や河川に流入して、水質の汚染・汚濁を招くことによる生活環境の悪化を防止し、良好な環境で生活していくためにはなくてはならない施設である。

これまで下水道への加入を働きかけてきていることから、平成26年度まで年々処理人口は増加してきたが、全体の人口減により、処理人口は前年度より30人少ない7,343人に止まった。有収水量は前年度より4,568m³多い96万1,431m³となっている。

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
処理人口(人)	7,343	7,373	7,412	7,454	7,450
有収水量(m ³)	961,431	956,863	949,990	963,028	985,767
処 理 原 価	388円00銭	395円33銭	496円58銭	602円29銭	409円50銭
処 理 単 価	150円00銭	150円00銭	149円97銭	150円00銭	149円99銭

3. 未収金について

次年度以降に繰越される未収金の内、消費税還付金等を除いた使用料については、水道事業では、584万3,335円(前年741万5,697円)、下水道事業では、716万8,576円(前年858万3,699円)となっており、2企業会計合計で、前年度より298万7,485円減の、1,301万1,911円となっている。

税務等担当各課とも連携の上、早期のうちに万全な対策を講じられたい。